



いちご農業者の生産性向上に寄与と、働きやすい環境を実現し障害者の方へ将来の地域農業の後継者となることができる農業技術を指導。

基本情報

- 所在地：岡山県岡山市
- 団体名：株式会社おおもり農園NPO法人 杜の家
- 選定表彰：－
- 主力商品：いちご・冷凍いちご／香料・着色料不使用のカクテル用シロップ／業務用いちごピューレなど
- 取得認証等：ノウフクJAS（令和3年取得）、認定農業者

取組の概要

- 岡山県岡山市にある株式会社おおもり農園は、平成14年の就農以来、いちご栽培を実施している。平成23年には、NPO法人杜の家及び就労継続支援A型事業所「杜の家ファーム」を設立。現在、障害者約18名の内6名から10名が施設外就労でいちご栽培等を行う。
- いちごは年間作業時間が特に長い作物であり、夫婦二人の作業では限界があったが、育苗から収穫までの期間に障害者の特性に応じた作業を振り分けることで、苗の生産から株の手入れや防除も行うことが可能となり、規模拡張と労働時間の短縮を実現。



収穫前のいちご

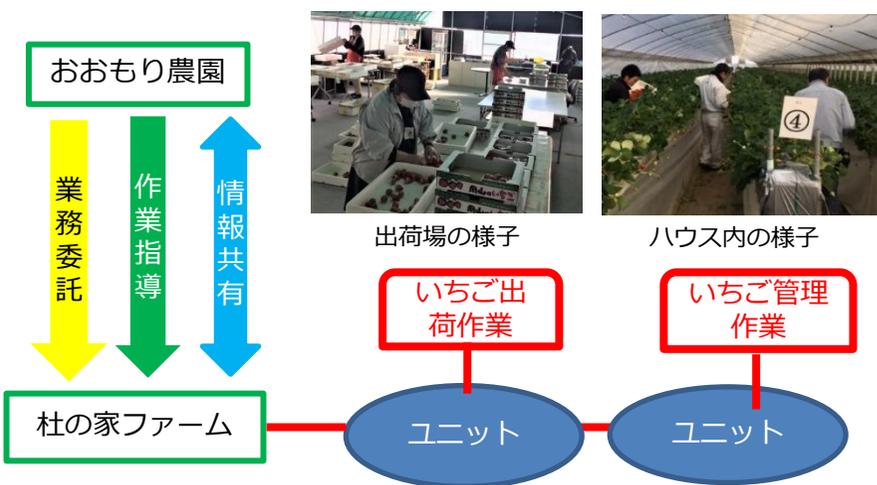


いちご植え付け作業



パック詰めされたいちご

体制図



取組の成果

- ◆ 自らが障害福祉サービス事業所を設立することで、作業者を安定的に確保できるようになり、作業負担が軽減。休日を取得できるようになった。
- ◆ 経営に余裕が生まれた結果、離農した農業者からハウスを引き継ぎ、経営面積が約35aまで増加。
- ◆ 作業の見える化によって、異常発生時の問題点が明確になり、指示が障害者に的確に伝わるようになった。
- ◆ いちご栽培の安定的な請負とその他の施設外就労との組合せにより、令和4年度の平均賃金月額は88,000円を超え、県内就労継続支援A型事業所の平均賃金月額（86,271円）を上回る。

所在地 ▶ 岡山市中区兼基111-1

連絡先 ▶ TEL: 086-279-8391 E-mail: info@npomori.com

ウェブサイト ▶ <https://omorifarm.jp/>

【取組のプロセス】

きっかけ

中国四国農政局主催のシンポジウム「クローズアップ農の福祉力」に参加し、障害者の受入れを決意

平成14年

小さな農家は親の介護や自身の体調不良で栽培規模の縮小や経営そのものの存続が難しいことを実感

農業の開始

- 平成14年 岡山市中区にいちごハウス10aを竣工し、兼業農家として事業開始。
- 平成15年 いちごと葉物野菜で専業農家となる。



いちご苗の手入れを行う利用者

平成21年

農林水産省 都市農業機能発揮対策事業・福祉農園地域支援事業の活用

農福連携を開始

- 平成21年 障害者施設より施設外就労の受入を始める。
- 平成23年 就労継続支援A事業所杜の家ファームとして障害者雇用開始。



いちご株管理を行う利用者

令和元年

平成30年
西日本豪雨災害

規模拡大と斜陽

- 平成27年 高齢による離農いちご農家施設受け入れ。
- 平成28年 都市農村機能発揮対策事業及び福祉農園地域支援事業によるいちご栽培施設完成。
- 平成30年 西日本豪雨により被災 一部復旧断念 離農いちご農家施設受け入れコロナ禍により葉物野菜撤退。
- 令和3年 いちごでのノウフクJAS取得。



音声選別機による選果作業

今後の展望

令和3年度
日本農林規格ノウフクJASを取得

将来の地域農業の後継者を育てる

- 障害者にはただ作業をしてもらうだけでなく、将来の地域農業の後継者になれるような様々な農業技術について指導を実施。
- 農福連携の活動を多くの方に知ってもらうことで農業の発展に寄与したいと考えている。



パック詰め作業